

令和2年度 第4回（通算第25回） 日立市立学校適正配置検討委員会 会議録	
日 時	令和2年12月21日（月） 午後2時から3時まで
場 所	市役所 304会議室
出席人数	（1）委員 21人（4人欠席） （2）事務局 教育部長、学務課長、学務課課長、適正配置推進室職員 計27人
議 事	（1）前回会議録の確認 （2）日立市立学校再編計画 提言書（案）について
そ の 他	
協議内容	<p><b>（委員長）</b> 事務局から、資料1の説明をお願いします。</p> <p><b>（事務局）</b> ご説明いたします。資料1をご覧ください。 前回の検討委員会では、パブリックコメントの結果を反映した素案の修正版をお示しし、ご意見をいただきました。 本日は、いただいたご意見や事務局で再度見直しを行なった結果を踏まえ、改めて修正を加えた資料をお配りしています。</p> <p>表紙のタイトルについては、この素案が最終的に検討委員会からの「提言書」となりますことから、その最終形をイメージしまして、「提言書案」としています。</p> <p>それでは、前回からの変更点についてご説明します。 変更箇所については、網掛けで示しておりますが、以下、主なものについてご説明します。</p> <p>最初に16ページをお開きください。 図4の囲み部分に、小中一貫教育と学校グループ化について、より内容をイメージしやすいように図を載せました。</p>

本市では、既存の学校敷地を活用しながら、主に施設分離型での小中一貫教育に取り組むこととしていますが、取組を推進することで、これまでと比べてどのように変わるのかを矢印に沿って図で表しました。

続いて20ページをお開きください。

「コラム3 学級定員の上限」については、先日、文部科学省から、小学校の学級定員を順次引き下げていくとの方針が示されたことから、※印にありますように説明を加えました。

続いて22、23ページをお開きください。

まず、22ページの制服や体操着などの持ち物の取り扱いに関する説明部分ですが、前回の会議でのご意見を踏まえ、網掛け部分のように、統合準備委員会の協議の中で決めていくという内容の表現に改めました。

また、次の23ページの「ウ 伝統の継承」については、メモリアルコーナーという例示を入れていましたが、前回のご意見を踏まえ、例示を削り、22ページと同様に、統合準備委員会において検討するという内容の表現に改めました。

続いて26ページをお開きください。

図6「再編の標準的なスケジュール」に関する図をご覧ください。

これまでは、再編スケジュールの表の下に、「点線の矢印(●▶)」の凡例として掲載していましたが、この「点線の矢印」の説明書きのすぐ後に図を置くと、より分かり易いと考え、記載する位置を変更しました。

また、図の中の矢印については、「点線の矢印」に統一し、併せて、図の一番右側に6年目の欄を新たに設けました。

続いて、隣の27ページ、「全体の再編スケジュール」をご覧ください。

「点線の矢印」の意味が分かりにくいというご意見をいただきましたので、改めて、表記を工夫しました。

「点線の矢印」で表している期間については、流動的で期間が一律でなく、1年ごとの区切りを入れることが難しいため、吹き出しで説明を加えました。

また、このページを見たときに再編の全体像がよりつかみ易いように、詳しい説明を加えました。具体的には、「パブリックコメント」で使用した「素

案の概要版」のスケジュール表の内容に合わせる形にしました。

なお、概要版の内容と変わったところは、「4 多賀北」の欄の網掛けで示した部分となります。

諏訪小について、経過観察（20年後の配置案で△印）となっている他の学校の表記に合わせました。

また、2つ目の網掛け部分、「施設一体型の小中一貫校の設置」については、一貫校として検討すること」としておりましたが、パブリックコメントの結果を受けて、「慎重に検討する」という表記に改めました。

これに伴い、第3・4期の欄の「●（黒丸）」の表記も、ちょうど点線の区切り部分に黒丸一つで表していたものを表のように変更しました。

なお、訂正があります。「6 南部」の欄で、2本の矢印の間の線（東小沢小が分かれることを表示する線）が抜けてしまったので、加えていただくようお願いします。また、大みか小の第3・4期の欄の線（「検討」の下の線）は、削除をお願いします。

次に30ページをお開きください。

再編の考え方の網掛け部分ですが、他のエリアに比べ、説明が少し不足していましたので、新たに内容を書き加えました。

次に37ページをお開きください。

「ウ 再編スケジュール」の表の網掛け部分ですが、「統合検討」としていたものを「再編の在り方検討」に変更しました。これは、上から2行目の説明内容に合わせて見直したものです。

続いて42、43ページをお開きください。

第2期終了後の配置案に加えて、右側の43ページに「第4期終了後の配置案」を載せ比較し易いようにしました。これは、資料編に入れていたものを本編に移したものです。

前回からの主な変更箇所については、以上です。

最後に、1ページの「巻頭のことば」については、加藤委員長にお願いしたいと思っています。

また、この本編に添付する資料については、パブリックコメントの結果なども含めて、事務局で整理させていただきたいと考えています。

資料1の説明については、以上です。

**(委員長)**

協議に入ります。

事務局から、加筆修正した部分を中心に説明がありました。ただいまの説明、また、全体を見渡して、ご質問やご意見がありましたら、ご発言いただきたいと思います。

いかがでしょうか。

**(委員)**

5ページの計画の取組期間について、3年程度を目安に進捗を検証し、見直しを検討するとあり、下の表で「検証」と「検証と見直し」となっているが、第1期が終わるまで見直しをしないのか、或いは、(第1期中の)「検証」の時にも見直しを行うのかということが1点目。

2点目は、第4期が終わって、「第3次計画の策定」とあるが、策定期間が短いのではないかと、もっと早い時期に取り掛かる必要があるのではないかと。

**(委員長)**

ことば遣いの部分もあるかと思いますが。「検証」と「検証と見直し」とあるが、「検証」のタイミングでは見直しをしないのかということと、時期的な部分です。事務局は、いかがですか。

**(事務局)**

「検証」と「検証と見直し」の使い分けであるが、3年を目途に検証する。その時に、学校を取り巻く情勢が大きく変化していれば、必要に応じて見直すことを視野に入れている。検証の結果、大きな修正の必要がなければ、5年の目安に向けて見直しの準備を進めるというスケジュール感で進めていきたいと考えている。

2点目については、ご指摘の通りと考えるが、計画の進捗状況や学校を取り巻く状況の変化に影響されるものとする。大きな変化がなければ、短い期間での見直し作業で足りる可能性はある。状況が大きく変化していれば、図中の「検証」と「検証見直し」のように、早めに着手して準備するというように柔軟に対応していきたい。

**(委員)**

第3・4期の計画策定や取組が控えているので、その都度、その都度、見ていくことが必要なのではないかと考え、質問した。

**(事務局)**

国の動向など、状況の変化については、しっかりとアンテナを張って対応していきたい。

「第3次計画の策定」とあるが、20年近く先のことであり、状況によっては、第3次計画が必要ない場合も想定される。そのようなことも含めて柔軟に対応していきたい。

**(委員長)**

他にいかがでしょうか。

**(委員)**

42、43ページの図について、「第2期終了後」「第4期終了後」とあるが、学区については、現在の学区をそのまま記載していると思う。新しい学校ができたときの学区の形までは、まだ明確ではないので、「学区の形については、令和2年度現在」のような表記があったほうがいいのか。

**(委員長)**

他のページでも該当することがあるかもしれません。事務局、どうですか。

**(事務局)**

この図は、現在の小学校区で作成している。第2期終了後の学区の線が引けるかどうか分からないので、預からせてほしい。誤解が生じないように、表記を工夫したい。

**(委員長)**

他にいかがですか。

**(委員)**

22、23ページの中に、「統合準備委員会」ということばが出てくる。このあと、(提言書が出れば) すぐに(統合の)ステップに進むところが出てく

と思う。この統合準備委員会が、どのような構成で、どのような役割なのか説明が必要ではないか。

**(委員長)**

提言書が出て、すぐに動き出すところが出てくると考えると、統合準備委員会の具体的なことを書く必要があるのか、ないのかということですが、いかがでしょうか。

**(事務局)**

ここだけを読むと「統合準備委員会」とは何かと疑問に思う方も出てくると思う。説明が不足していた。具体的には、41ページ「4 再編の進め方」に、統合準備委員会の構成や役割を具体的に記載している。22ページに「41ページを参照」などの記載を入れることで確認することができるので、表記を工夫したい。

**(委員長)**

41ページをご覧いただいて、再度、統合準備委員会について確認をしていただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。

前回までは、スケジュールの表が分かりにくい等のご指摘がありました。事務局で工夫していただいて、だいぶ分かり易くなっていると思います。委員の皆様はいかがですか。

かなり細かい部分については、事務局にご一任いただいて、目立つ、大きなところの修正を委員の皆様にご指摘いただきたいと思います。

では、ここまでとさせていただきます。よろしいでしょうか。

以後は、細かな部分になりますので、事務局での調製と、私も確認いたしますので、ご一任いただきたいと思います。

資料1についての協議は、ここまでといたします。

(事務局)

細かな修正は、事務局に一任いただけるとのことなので、正副委員長と共に、調製次第、後日、正副委員長から教育委員会へ提言書を提出していただくということにしたい。

事務局から、検討委員会名簿の公表について提案させていただきたい。

平成28年から約5年にわたって、学校再編についてご協議いただいていた。

これまでは、協議の過程ということで、委員氏名の公表は控えていたが、提言書の提出の後、市の正式な計画書として策定することを踏まえ、提言書と計画書に検討委員の名簿を掲載したいと考えている。委員の皆さんのご意見をお伺いしたい。

特に異議が無いようなので、賛同いただけたものとする。

次に、会議録の確認についてお知らせする。

後日の提言書の提出をもって、本検討委員会の終了ということになり、次回会議の機会が無くなるため、本日の会議録は、整い次第、郵送をする。修正点があれば、ご連絡いただき、修正後、公開としたい。

以上